

福祉文教常任委員会協議会 説明資料

令和4年10月25日

大磯町公私連携幼保連携型認定こども園設置運営事業者の
提案内容等について

資料

大磯町公私連携幼保連携型認定こども園設置運営事業者の
提案内容等について 1

法人パンフレット	参考資料 1
応募書類要約表	参考資料 2
施設整備計画	参考資料 3

子育て支援課

大磯町公私連携幼保連携型認定こども園設置運営事業者の 提案内容等について

1. 設置運営事業者の概要 ※ 参考資料1「法人パンフレット」参照

- (1) 法人名： 社会福祉法人 真澄児童福祉会
- (2) 事務所所在地： 藤沢市片瀬5-13-15
- (3) 代表者名： 理事長 山下 隆
- (4) 設立年月日： 昭和47年3月31日
- (5) 法人職員数： 97名（令和4年8月1日現在）
- (6) 運営施設：

施設名	開園年	所在地	施設区分	定員数
富士見保育園	昭和47年	藤沢市	保育所	143名
深見台保育園	昭和50年 (平成25年民営化)	大和市	保育所	120名
佐助保育園	平成31年	鎌倉市	保育所	96名

※学校法人和敬学苑によるグループ幼稚園「むらおか幼稚園」（藤沢市）の運営実績あり

2. 事業者提案における主なポイント ※ 詳細は参考資料2「応募書類要約表」参照

(1) 保育内容

⇒ 大磯幼稚園が築き上げてきた保育を継続していくことを基本

《事業者が保育で大切にしていること》

- 自分で考え自分で行動する力が育つ
- 五感を使って経験する
- 様々なことに興味や関心を持てる

(2) 開園時間

平日	標準時間	7:00～19:00（延長保育 18:00～19:00）
	保育短時間	8:30～16:30（延長保育 7:00～8:30、16:30～19:00）
土曜	標準時間	7:00～18:00
	保育短時間	8:30～16:30（延長保育 7:00～8:30、16:30～18:00）

⇒ 町立国府保育園と同様の開園時間設定

(3) 提案定員

幼稚園事業	1号認定（3歳児以上）	70人程度	最終的には、事業者と協議し、計商定員145人程度で決定する予定	
保育事業	2号認定（3歳児以上）	70人程度		
	3号認定	1・2歳児		30人程度
		0歳児		6人程度
合計		176人程度		

⇒ 町の意向に合わせて調整可

(4) 職員配置

役職	配置人数	役職	配置人数
園長	1人	養護教諭	1人
副園長	1人	主幹栄養教諭	1人
主幹保育教諭	1人	栄養教諭	3人
指導保育教諭	1人	事務職員	1人
保育教諭	19人	その他	5人
合計		34人	

⇒ 保育経験10年以上の職員を3名以上、5年以上の職員を1/3以上配置

(5) 実施する保育サービス

⇒ 預かり保育（教育部）、延長保育（保育部）、一時保育（園児以外利用可）、学童保育

(6) 給食

⇒ 自園調理（調理・献立作成：事業者実施）

⇒ アレルギー食対応あり

(7) 保護者の費用負担

⇒ 教材費（3～5歳児） 1,000円／年額

⇒ 給食費（3～5歳児） 6,500円／月額（78,000円／年額）

⇒ 詳細は三者協議（事業者、町、保護者）で協議

3. 施設整備計画 ※詳細は参考資料3「施設整備計画」参照

(1) 施設整備方法

⇒ 「新設」 ・認定こども園（鉄筋造、2階建て）

・学童保育クラブ（木造、平屋）

(2) テーマ

⇒ 「地域とつながり、ひらかれた子ども園」

(3) 計画のポイント：

- 周辺環境に合わせた勾配屋根 ⇒ 近隣への圧迫感を軽減
- 既存樹を生かし広い園庭を確保 ⇒ のびのびとした保育の継承

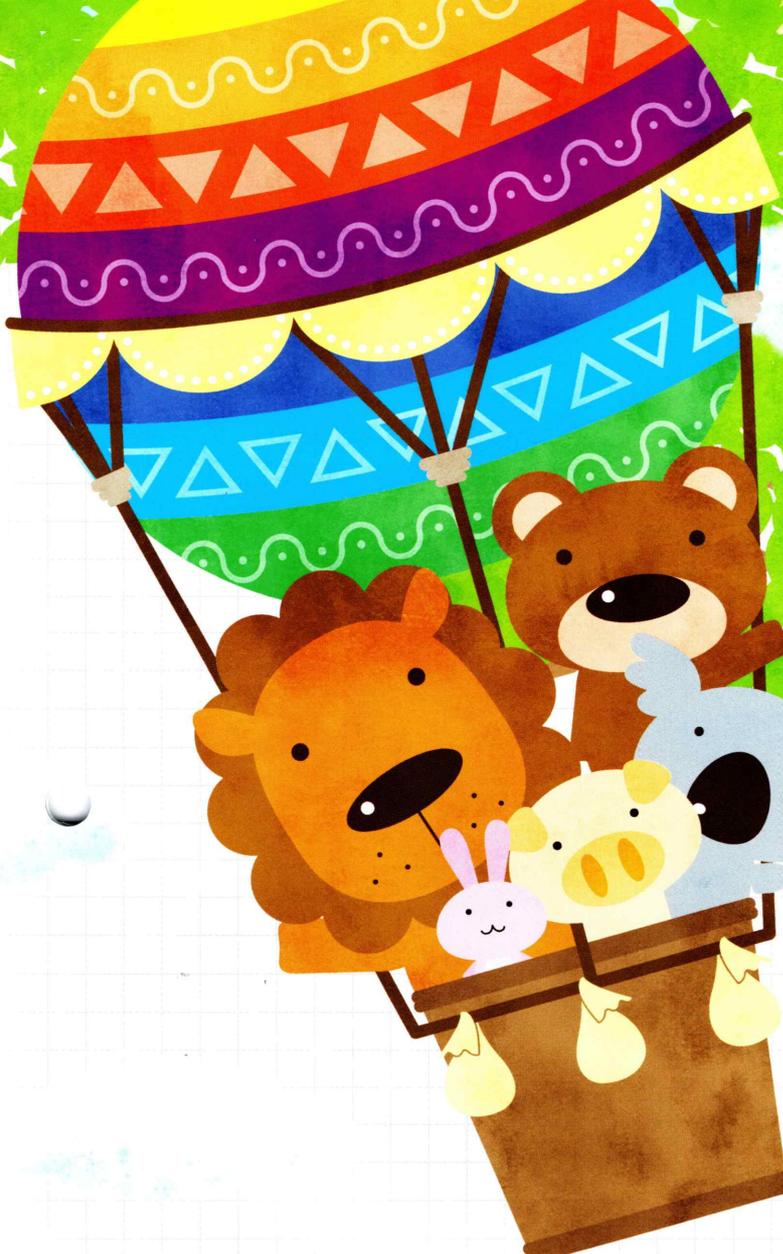
- 4方向の避難経路の確保 ⇒ 安全対策
- 保育室等の配置
 - 【1階】 0・1歳児室、2歳児室、ホール、職員室、調理室、ランチテラス、図書コーナー、一時保育室、子育て支援室
 - 【2階】 3歳児室、4歳児室、5歳児室、テラス、職員休憩室・更衣室
 - 【別棟】 学童保育クラブ
- 「まちのテラス（園の玄関口）」 ⇒ 地域との気軽な交流、歩車分離
- 環境に配慮した取組み ⇒ 太陽光・風力エネルギーの利用、雨水の活用等

4. 今後のスケジュール

令和4年度												
対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設置・運営法人							園舎建築準備（設計等）					
保護者 地域							<ul style="list-style-type: none"> ●説明（事業計画） ●三者協議（事業者、町、保護者） 					

令和5年度													
対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
設置・運営法人		園舎建築等						引継・合同保育					
保護者 地域	●説明（工事関係）												
	家庭的保育事業の実施												

令和6年度												
対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設置・運営法人	旧園舎解体工事											
保護者 地域	運営開始（開園）											



社会福祉法人 真澄児童福祉会

ふ じ み ほ いく えん
 富士見保育園

ふか み だい ほ いく えん
 深見台保育園

さ すけ ほ いく えん
 佐助保育園



子どもたちの成長それは毎日の生活の積みかさね

子どもたちの成長

それは毎日の生活の積みかさね

真澄児童福祉会では、乳児期・幼児期という人生の中で大切な時期に様々な経験をし、多くの好奇心を持ち、さらなる探求心を持つことが「生きる力」へとつながると考えます。私たちはその「生きる力」を、子どもたちが自分の力で様々な場面で身につけることができるように保育をしています。

子どもたち一人一人が個性を大切に伸ばし伸ばしと過ごせる環境を作りたいという強い思いを持った職員が、保護者の皆さまと気持ちを通わせながら、子どもたちが大きく・たくましく・優しく成長するために精一杯の努力をしています。



保育理念

一人一人の個性を尊重し、社会の一員として充実した人生を歩む基礎づくりをする。

子どもの心とからだ（生きる力）の基礎を育む。

子どもの最善の利益と福祉の増進。



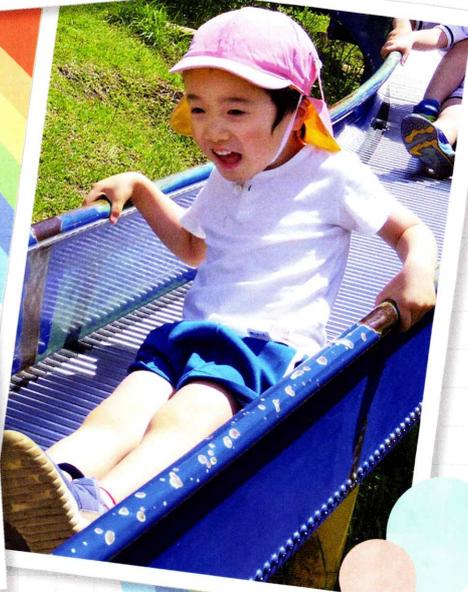
保育目標

こんな子どもに育てましょう

よく遊ぶ
子ども

仲良く
遊べる
子ども

自分でできる
ことは自分で
する子ども



基本方針

- 1 子どもの言動に意味のあることを知り、受け止め、共感する保育をします。
- 2 健康、安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心とからだが育つように愛情と誠意をもった保育をします。
- 3 一人一人の成長の芽を大切に、遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育を大切にします。
- 4 子どもと保護者の置かれた状況や意向を受け止めながら、保護者と手を取り合い子育ての喜びや楽しさを共感しあえる保育を目指します。
- 5 地域育児を担う施設として関係機関との連携を図り、地域の子育てを支援します。

保育の中で大切にしていること



いつでもどこでも誰にでも「ありがとう」「ごめんなさい」を言いましょう

お友だちが優しくしてくれた時などは「ありがとう」を伝えようと保育しています。もし、お友だちを嫌な気持ちにさせてしまった時は素直に「ごめんなさい」を伝えられるようにしています。「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉は、譲り合う気持ちを育てたり、人を思いやる気持ちを育てます。これらの大切な言葉が、いつでも、どこからでも聞こえる保育園になるように努力しています。

「良い間違い」「悪い間違い」を知りましょう

間違えてしまうことは当たり前です。一生懸命に取り組んだときの間違いは「良い間違い」として褒めています。間違えることは悪いことではないと知ってほしいのです。ただ、お話を聞かなかったり、ふざけているときの間違いは「悪い間違い」ですから叱ります。子どもたちが「良い間違い」と「悪い間違い」の違いを知り、子どもたち自身が心掛けることができるように保育しています。



「不思議な気持ち」を見つけましょう

子どもたちが一生懸命目標に向かい、それが達成できたときの満足感を「不思議な気持ち」と呼んでいます。子どもたちが保育園で過ごす時、難しいことや思うようにならないことがたくさんあります。そのような困難に取り組み、できた時の喜びは嬉しく誇らしいものです。この気持ちをたくさん感じることはこれからの成長の基礎になり、エネルギーにもなります。





「お友達に拍手」をしましょう

子どもたちはそれぞれに苦手な事を持っています。
 それができるようになった時は、とても嬉しい瞬間です。
 私たちは、その瞬間をしっかりと見つめ、その時はお友だちにもそれを伝えます。
 そして、まわりが、そのお友だちに拍手をしようと気付くことができるように保育しています。



「お話は顔を見て」聞きましょう

どんな時でもお話をしている人の顔を見て聞けることができるように保育しています。
 お話を上手に聞くことができなければ、相手の気持ちを分かろうともできませんし、
 自分の気持ちも伝えることができません。
 いろいろな場面で、お話は顔を見て上手に聞くことができるように保育しています。



災害対策

お子様を大切にお預かりし、どんなことよりも子どもたちの
 安全を最優先にすることが保育園の役割です。
 その中でも災害への対策は重要事項の一つです。
 万が一電話が繋がらなかった場合に備えてメールの
 配信を行うなど、地域の実態に即した様々な対策を考え
 保護者の方と一緒に災害対策に取り組んでいます。



社会福祉法人 真澄児童福祉会 富士見保育園

昭和47年4月1日 設立
〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬 5-13-15
TEL 0466-25-7211 FAX 0466-28-9866



開園時間	7:15 ~ 19:15
土曜日保育	7:30 ~ 17:00(要申請)
延長保育 ※別途料金がかかります	A 18:16 ~ 18:45(要申請) B 18:46 ~ 19:15(要申請)
延長保育 (短時間認定)	朝 7:15 ~ 8:30 夕 16:30 ~ 19:15(要申請)
休園日	日曜日・祝祭日・年末年始



子育て支援

子育て相談

月曜日～金曜日 午前 9:00～午後 5:00
電話や来園による育児相談を受けております。
どんなことでもお気軽に話に来てください。

一時預かり保育

一時預かり保育室を設け、専任の保育士を配置し、一時預かり保育を実施しています。

世代間交流

年間4～5回近隣の方をおまねきして、子ども達と一緒に遊び、食事をしたりします。

ハッピーデー

毎月保育園を解放し、室内や園庭で子どもたちと一緒に遊びます。

定員	143名					
対象年齢	0歳児(4ヶ月)～5歳児(就学前まで)					
年齢	0歳児 ひよこ	1歳児 すずめ	2歳児 あひる	3歳児 ばんだ	4歳児 さくら	5歳児 たんぼほ
人数	12人	20人	24人	27人	30人	30人

プ
ロ
グ
ラ
ム

0
～
2
歳
児

開園



健康観察
荷物整理
自由遊び
朝のお集まり

おやつ
排泄・手洗い
遊びや製作などの活動
散歩(夏季は沐浴)

食 事

排 泄

午

3
～
5
歳
児

開園



健康観察
荷物整理
自由遊び
朝のお集まり

遊びや製作
などの活動

散歩
(夏季はプール)



食 事



年間行事予定

4月 入園式・進級式

5月 園外保育・幼稚園交流

6月 プール・園外保育

7月 夏祭り・プール

8月 プール

9月 運動会

10月 芋ほり

11月 幼稚園交流

12月 生活発表会

1月 園外保育

2月 豆まき・サッカー大会
園外保育

3月 卒園式



災害・安全対策

海側の立地ということもあり、特に地震及び津波への災害対策を常に重要に捉えています。平成22年に園舎の建て替えを行い、その際も災害への備えを十分に検討し計画を立て設備を整えました。地震及び津波による対策を日々準備し、屋上や高台への避難訓練の実施を行い、非常食等だけではなく、毛布やおむつ等の備蓄品の充実を図っています。

また、万が一の事態に備え全員分のライフジャケットを用意しています。

その他
懇談会・誕生会・歯科健診・内科検診
*毎月 身体測定・避難訓練

13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00(19:15)

目覚め
排泄・着替え

おやつ
(年齢に応じて授乳) 降園準備

自由遊び
延長保育
(別途申し込み)

補食

閉園

午睡

目覚め

おやつ

降園準備
帰りのお集まり

自由遊び
延長保育
(別途申し込み)

補食

閉園

社会福祉法人 真澄児童福祉会 深見台保育園

昭和 50 年 4 月 1 日 設立
平成 25 年 4 月 1 日 民営化
〒242-0013 神奈川県大和市深見台 4-10-23
TEL 046-263-9300 FAX 046-264-7954



開所時間	7:00 ~ 18:00(月曜日~土曜日)
保育時間	〈保育標準時間認定〉 7:00 ~ 18:00(月曜日~土曜日) 〈保育短時間認定〉 8:30 ~ 16:30(月曜日~土曜日)
延長保育 *別途料金がかかります	〈保育標準時間〉 18:00 ~ 20:00(月曜日~金曜日) 〈保育短時間〉 7:00 ~ 8:30 16:30 ~ 18:00(月曜日~土曜日) 18:00 ~ 20:00(月曜日~金曜日)
休園日	日曜日・祝祭日・年末年始

定員	120名					
対象年齢	0歳児(4ヶ月)~5歳児(就学前まで)					
年齢	0歳児 ひよこ	1歳児 うさぎ	2歳児 すみれ	3歳児 もも	4歳児 ひまわり	5歳児 ゆり
人数	12人	16人	22人	23人	23人	24人

子育て支援

あそぼう会(園開放)

毎週水曜日 午前 9:30~11:00
(園庭は11:30まで)
保育園の室内や園庭などで園児と一緒に遊びます。

たべよう会(要予約)(0・1・2歳クラス対象)

毎月第2水曜日 午前11:00~

子育て相談

月曜日~金曜日 午前 9:00~午後 5:00
電話や来園による育児相談を受けております。どんなことでもお気軽に話に来てください。

地域育児センターとして、地域との交流や育児支援を積極的に行っています。

地域世代間交流

地域のお年寄りの方や、小・中・高校生との交流を行っています。

おとうさんと一緒にあそぼう会(園庭開放)

毎週土曜日 午前 9:30~11:00
(園庭のみ開放します)

みんなおいで(年2回)

お母さん同士が楽しくおしゃべりしたり、情報交換など親子で友だち作りや気分をリフレッシュできる場になるといいなと思います。

育児講座(年2回)

保育士・主任児童委員・育児サークル
子育て支援センター・生涯学習センター・保健師・大和市と連携し、子育ての支援やお手伝い、ゲームやふれあい遊びなどをします。

緊急的保育事業

月曜~金曜 午前 8:30 ~ 午後 5:00
家庭での保育が一時的に困難となるおさんの保育をします。

詳細については別途、冊子を用意しています。

プレイグラム

0
~
2
歳児

3
~
5
歳児

	7:00	9:30	10:00	11:00	11:30	12:00
0~2歳児	開園	健康観察 荷物整理 自由遊び 朝のお集まり	おやつ 排泄・手洗い 遊びや製作などの活動 散歩(夏季は沐浴)	食事	排泄	午睡
3~5歳児	開園	健康観察 荷物整理 自由遊び 朝のお集まり	遊びや製作などの活動	散歩 (夏季はプール)	食事	

年間行事予定

4月

入園進級お祝い会



5月

遠足
子どもの日のつどい
地域清掃

6月

深見台まつり・プール



7月

七夕・プール

8月

プール
ゆうびんごっこ



9月

プールおさめ

10月

運動会・芋ほり

11月

焼き芋・遠足



12月

お楽しみ会
クリスマス会
おもちつき

1月

引渡し訓練

2月

豆まき
おっみせやさんごっこ



3月

ひなまつり
交通安全教室
お別れ遠足・卒園式

その他

懇談会・誕生会・歯科健診・内科検診
えいごあそび・個人面談
*毎月 身体測定・避難訓練

災害・安全対策

マニュアルの整備、並びにそれに沿った避難訓練、
火災時の避難訓練など、実践的な訓練を市や消防等の様々な
機関と連携を図りながら随時行っています。
職員の研修を行うとともに、保護者の方にも参加していただき、
外部の方を招き災害対策の指導を仰ぐ機会を設けたり、
災害に対する講演を行うなど、防災意識・知識の普及啓発に
努めています。
災害時の対応として非常時用の備蓄倉庫を設置しました。

13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 20:00

目覚め
排泄・着替え

おやつ
(年齢に応じて授乳)

あそび

降園準備
帰りのお集まり

自由遊び
延長保育
(別途申し込み)

補食

閉園

午睡

目覚め おやつ

降園準備
帰りのお集まり

自由遊び
延長保育
(別途申し込み)

補食

閉園

社会福祉法人 真澄児童福祉会 佐助保育園

平成 31 年 4 月 1 日 設立
〒248-0017 神奈川県鎌倉市佐助 1-13-6
TEL 0467-40-4040 FAX 0467-40-4088



開所時間	7:00 ~ 19:00(月曜日~土曜日)
保育時間	〈保育標準時間認定〉 7:00 ~ 18:00(月曜日~土曜日) 〈保育短時間認定〉 8:30 ~ 16:30(月曜日~土曜日)
延長保育 *別途料金がかかります	〈保育標準時間〉 18:00 ~ 19:00(月曜日~土曜日) 〈保育短時間〉 7:00 ~ 8:30(月曜日~金曜日) 16:30 ~ 19:00(月曜日~金曜日)
休園日	日曜日・祝祭日・年末年始

子育て支援

子育て相談

月曜日~金曜日 午前 9:00~午後 5:00
電話や来園による育児相談を受けております。
どんなことでもお気軽に話に来てください。

一時預かり保育

一時預かり保育室を設け、専任の保育士を
配置し、一時預かり保育を実施しています。

世代間交流

年間を通して近隣の方をおまねきしたり、
施設へお伺いし、子ども達と一緒に遊び、
食事をしたりします。



定員	96名					
対象年齢	0歳児(4ヶ月)~5歳児(就学前まで)					
年齢	0歳児 つくし	1歳児 れんげ	2歳児 すみれ	3歳児 たんぼぼ	4歳児 こすもす	5歳児 あじさい
人数	9人	12人	18人	19人	19人	19人

プレイ プログラム

0
~
2
歳児

3
~
5
歳児

	7:00	9:30	10:00	11:00	11:30	12:00
0~2歳児	開園 健康観察 荷物整理 自由遊び 朝のお集まり	健康観察 荷物整理 自由遊び 朝のお集まり	おやつ 排泄・手洗い 遊びや製作などの活動 散歩(夏季は沐浴)	食事	排泄	午睡
3~5歳児	開園 健康観察 荷物整理 自由遊び 朝のお集まり	健康観察 荷物整理 自由遊び 朝のお集まり	遊びや製作 などの活動	散歩 (夏季はプール)	食事	



年間行事予定

4月

入園進級お祝い会・クラス懇談会
個人面談・春の遠足
よもぎつみ・おだんごづくり

5月

地域清掃
歯科検診・健康診断

6月

消防署見学
プール開き・プール・水遊び

7月

すいかわり・保育参観
七夕

8月

プール

9月

プールおさめ・さすけまつり
誘拐防止教室

10月

個人面談
芋掘り・運動会

11月

焼き芋・遠足

12月

発表会・クリスマス会

1月

餅つき
引渡し訓練

2月

豆まき・おみせやさんごっこ
懇談会

3月

雛祭り
お別れ遠足・交通安全教室
お別れ会・卒園式

その他

かまくらたんけん・スイミング・えいごあそび
ビーチクリーン・ビーチコーミング・調理保育
*毎月 誕生会・身体測定



災害・安全対策

マニュアルを作成し安全管理について徹底しています。
毎月点検を行い、補修及び改善が必要な場所が見られた場合は
早急に対応します。
災害対策として、様々な状況、避難方法等を想定し、現状に即
した避難訓練を毎月実施し、消防署や行政機関と連携し講習等
を行うなど保護者の災害対策への啓発にも努めます。
散歩時なども含めて津波想定訓練についても様々な想定で行い
災害に備えることを心がけます。

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
目覚め 排泄・着替え	おやつ (年齢に応じて授乳)	あそび	降園準備 帰りのお集まり	自由遊び 延長保育 (別途申し込み)	補食	閉園
午睡	目覚め おやつ	降園準備 帰りのお集まり	自由遊び 延長保育 (別途申し込み)	補食	閉園	



富士見保育園

〒251-0032
 神奈川県藤沢市片瀬 5-13-15
 TEL 0466-25-7211
 FAX 0466-28-9866

江ノ島電鉄線 湘南海岸公園駅下車 徒歩 4分
 小田急江ノ島線 片瀬江ノ島駅下車 徒歩 14分
<http://fujimi.masumijidou.jp>



深見台保育園

〒242-0013
 神奈川県大和市深見台 4-10-23
 TEL 046-263-9300
 FAX 046-264-7954

小田急江ノ島線・相鉄線
 大和駅下車 徒歩 10分
<http://fukamidai.masumijidou.jp>



佐助保育園

〒248-0017
 神奈川県鎌倉市佐助 1-13-6
 TEL 0467-40-4040
 FAX 0467-40-4088

JR 横須賀線・江ノ島電鉄線
 鎌倉駅下車 徒歩 8分
<http://sasuke.masumijidou.jp>

応募書類要約表

※各項目を250字以内に要約したものを記載してください

(1) 法人の状況

①法人概要等（様式2-5）	
基本理念・基本方針・目標等	文字数 249
	自分で考え自分で行動する力が育つ・五感を使って経験する・様々なことに興味や関心を持てる これらの気持ちを持てるようにかかわり、職員は・興味や関心が広がるきっかけとなる種をあそびの中に蒔く・子どもと信頼関係を築くことを念頭に保育をし、その気持ちに気づききっかけとしての五項目を「ごほんゆび」としています。 ・いつでもどこでも「ありがとう」「ごめんなさい」を言いましょう・不思議な気持ちを見つけましょう・「良い間違い」「悪い間違い」を知りましょう・お友達に拍手をしましょう・お話は顔を見て聞きましょう
応募の動機	文字数 246
	見学時に、伝統のある大磯幼稚園を大切にされていると感じました。登園している子どもたちからも、穏やかな雰囲気の中で楽しい園生活の様子が伝わってきました。ぜひ、この園で保育をしていきたいと感じたことが率直な動機です。私たちも日々このような環境での保育を目指しており、共感できる部分が多いと思います。姉妹園である幼稚園での経験、法人施設での民間移管による安定した保育園運営、法人施設の園舎建て替え、国の建物を活かした保育所開設という事例での経験など、法人として培ってきた経験を活かしていきます。
②評価の取組み（様式2-6）	
法人の自己評価・外部評価の取組み	文字数 246
	園としての考え、理念を押し付けるのではなく、子どもたちと丁寧にかかわり、それぞれのご家庭の立場にたった考え方をもちいろいろな思いやご意見に耳を傾けることを大事にしています。 日々、自分たちの行動を振り返ること、様々なところから意見伺うことをしながら、改善が必要である場合は、早急に対応しています。 年に一度以上の自己評価、法人他施設の園長による視察、5年に一度を目安にした第三者評価の受審、保護者の意見を募る機会を設けることなどを行っています。令和5年度は法人施設で第三者評価を受審予定です。

(2) 園の組織・体制

①全体計画（様式4-1）	
教育・保育理念	文字数 246
	大磯幼稚園が築き上げてきた保育を継続していくことを基本とします。現在の大磯町及び大磯幼稚園の理念と法人の理念は異なるものではないと思っていますので、現在のの方向性、内容を変えることをせずに、一人一人の個性を尊重し、のびのびと過ごせる環境、遊びを中心とした保育を基本とします。 人生において最も大切ともいえる乳幼児期に様々な経験をし、その中で多くの好奇心、さらなる探求心を持つことが「生きる力」となります。その「生きる力」を子どもたちが自分の力で様々な場面で育むことができるように保育をします。
教育・保育方針	文字数 249
	・子どもの言動に意味のあることを知り、受け止め、共感する保育をします。 ・健康、安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心とからだが育つように、愛情と誠意をもった保育をします。 ・一人一人の成長の芽を大切にし、遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育を大切にします。 ・子どもと保護者の置かれた状況や意向を受け止めながら、保護者と手を取り合い子育ての喜びや楽しさを共感しあえる保育を目指します。 基本的に保育園部門、幼稚園部門と分けることはなく、同じ教育課程の中で保育を行います。

教育・保育目標	文字数	247
	現在行われている保育内容を変えずに継続します。丁寧な引き継ぎをし、内容だけではなくその思いや考え方も大切に引き継いでいきたいと思いません。現在の保育内容を引き継ぐことを基本としますが、保護者の方の意見を取り入れながら、よく検討したうえで新たな活動や行事を行う柔軟な姿勢も持ちたいと思います。また、卒園児、卒園児の保護者の方、勤務されていた職員の方が遊びに来やすい雰囲気、行事を行いたいと考えています。大切にされてきた園の雰囲気が今後も継続されていくようにすることは大きな目標であると考えています。	
②開園時間等（様式4-2）		
開園時間・保育時間	平日	開園時間：7:00～18:00（延長保育～19:00）
		保育時間：7:00～18:00・8:30～16:30・8:30～14:30
	土曜日	開園時間：7:00～18:00
		保育時間：7:00～18:00・8:30～16:30・1号認定はなし
日曜日・祝日	開園時間：なし	
		保育時間：なし
③定員区分（様式4-2）		
1号認定の定員	3歳児	20人
	4歳児	25人
	5歳児	25人
	小計（1号）	70人
2・3号認定の定員	0歳児	6人
	1歳児	12人
	2歳児	18人
	3歳児	20人
	4歳児	25人
	5歳児	25人
	小計（2・3号）	106人
全体の定員	0歳児	6人
	1歳児	12人
	2歳児	18人
	3歳児	40人
	4歳児	50人
	5歳児	50人
	合計	176人
学級数	3歳児	2学級
	4歳児	2学級
	5歳児	2学級
	合計	6学級
④1号認定の選考方法（様式4-3）		
選考の方法	文字数	247
	就労の有無等に関係なく、希望の方は差別することなく入園でき、基本的には申し込み順に入園許可とします。預かり保育を希望する場合は、こども園の開所時間であれば特別な条件なく受け入れます。 定員を超える場合は ①兄弟姉妹が在園しているものは優先して入園②大磯小学校区内在住③大磯町内在住④抽選 の順にします。 本児の状況について健診等で相談されている、発達等に不安がある場合などは、願書提出の前に事前に相談いただき、本児が困難と感しないような適した環境を行政と連携をとり様々な方法を検討していきます。	
⑤保育料以外の保護者負担（様式5-2）		
保育料以外の保護者負担の考え方	文字数	250
	個人で使用する物品については実費徴収を考えています。集団活動において本児に支障が無いようであれば、引継ぎ前や転園前などで使用している物品は引き続き使用できるようにします。 給食費に関しては、公定価格に食材費が含まれていないため3歳以上児クラスにおいては徴収を考えています。コストを最優先するのではなく、安全で安心できる食材、地元の食材、業者での食材調達を考えています。その他、費用徴収を検討する場合は、法人としての考えを押し付けるのではなく、アンケートなどで各ご家庭の意向を伺いたいと考えています。	

⑥職員配置等		
人材育成 (様式6-1)	文字数	247
	<p>働きやすくやりがいのある職場づくりへ向けて育成計画を作成し法人内で共通理解をし人材育成に努めます。研修計画を作成し研修を行うことで専門的な知識、技術の向上にも繋がります。マニュアルを作成し理念を共有し質の向上を目指します。</p> <p>法人では若者の採用・育成に積極的で、雇用管理の状況などが優良な中小企業を認定するユースエールを受けていますので、その方向性を維持しながら、人材育成に取り組んでいきます。</p> <p>研修を行い園全体に還元していくため、職員を定数より増やし安定したゆとりのある保育を実践していきます。</p>	
職員配置の考え方 (様式6-2)	文字数	249
	<p>保育において経験は大切な要素の一つですので、10年目以上を3人以上、5年目以上を全体の1/3以上配置し、複数担任制の中で経験等に応じバランスを考えてクラス配置をします。フリー保育教諭を多く配置し、非常勤保育教諭を朝夕に重点的に配置します。</p> <p>職員間のコミュニケーションを大切にし、新規採用者が安心して業務に取り組めるようにし、経験ある職員や年齢が近い先輩職員とかわりながら業務を行いながら経験を積めるようにします。離職率が低く経験を積む職員が増えることで、安全面の向上、充実した保育内容となります。</p>	
保育教諭等の配置 (職員構成)	園長	1人
	副園長	1人
	教頭	人
	主幹保育教諭	1人
	指導保育教諭	1人
	保育教諭	19人
	主幹養護教諭	人
	養護教諭	1人
	主幹栄養教諭	1人
	栄養教諭	3人
	事務職員	1人
	養護助教諭	人
	その他	5人
	合計	34人
⑦安全対策・危機管理体制 (様式7)		
日常の園運営における 安全対策	文字数	245
	<p>「衛生マニュアル」を作成し、職員への周知徹底を図り衛生管理に努めます。マニュアルに基づきチェック表を作成し、清掃及び消毒を行い清潔な環境になるように徹底し、感染症等が見られた場合には、広がらないように情報を共有し予防策や対応を確認し、症状や対応及び予防策を保護者に周知します。流行期には事前に伝えたり、保護者に知らるなど予防啓発に努めます。行政機関や近隣の施設との情報共有を図り、予防及び感染の広がりを防ぐようにします。研修や講習会に参加し、職員の衛生管理への意識及び技術の向上に努めます。</p>	
非常時(事故・災害) に対する安全対策	文字数	249
	<p>「事故防止マニュアル」を作成し安全管理について記載し使用します。マニュアルの周知徹底を図り年数回以上会議での確認を行います。マニュアルに基づき安全点検を行い、補修及び改善が必要な場合は早急に対応します。ヒヤリハットの作成を毎月行い集計及び分析を行います。そこで改善が必要と思われる対応、改善が必要な場所が見られた場合は早急に対応します。避難訓練を毎月実施します。様々な状況、避難方法等を想定し、現状に即した訓練を実施し、消防署や行政機関と連携し講習等を行うなど保護者の災害対策への啓発にも努めます。</p>	

個人情報等の取扱い	文字数	189
	<p>「園マニュアル」において明確な取り扱いを定め、守秘義務を順守します。改善が必要な場合は早急に対応し、職員間で共通理解をします。タブレット等による帳票作成、登降園管理システムなどを導入する際は、必要以上の情報を入力せずに、閲覧者の権限などを徹底するとともに、厳格なセキュリティ管理を行います。</p> <p>情報の取得・情報の保管・情報の使用 において具体的な表を作成し職員間で確認をします。</p>	

(3) 園の運営

①教育・保育計画		
教育・保育課程等 (様式8-1)	文字数	250
	<p>大磯幼稚園が築いてこられたものを引継ぐことを基本とし、法人としての保育理念、保育方針を融合し、保育園と姉妹園の幼稚園での知見を活かしながら計画を作成します。</p> <p>子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、実態に即した具体的なねらい及び内容を設定します。ねらいが達成されるよう、子どもの生活する姿や発想を大切に適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動できるようにします。発達の状況や日々の状態で柔軟に保育をし、個別の関わりが十分行えるようにしたうえで、家庭や専門機関と連携します。</p>	
幼保連携型 認定こども園として 特に配慮する点 (様式8-2)	文字数	245
	<p>園児一人一人の集団生活の経験年数の違いなどが、様々な姿として現れることが予想されますが、3歳以上児クラスは教育時間においては1号認定・2号認定と分けずに過ごします。園児の在園時間、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、園児の一日の生活の連続性及びリズムの多様性に配慮し、園児の発達の連続性を見通し一人一人の発達の過程に応じながら一貫した教育及び保育を展開します。一人一人の状況に応じて、心身の負担に無理がなく生活の流れをつくることできるように、教育及び保育の内容やその展開について工夫します。</p>	
②支援・配慮を要する子ども及び家庭支援が必要な保護者への対応(様式9)		
障がいのある子ども	文字数	235
	<p>積極的に受け入れる方向です。本児が障害を持ちながらも自立していくことが大切ですので、本児に適した環境を保護者、関係機関と話し合い、本児の為に視点ということを大切にします。</p> <p>入園前に面談を行い本児及び保護者が安心して通えるように心がけ、受け入れ後も保護者との連携を密にし専門機関の指導や助言を受け入れながら対応します。サポート巡回を利用するなど個別配慮等の支援を学び、職員間で共有しより細やかな配慮を行っていききたいと思います。法人施設での対応を現状に準じて行っていきます。</p>	
アレルギー症状のある子ども	文字数	233
	<p>法人では厚生労働省「アレルギー対応ガイドライン」を基に「アレルギー対応マニュアル」を作成、使用してアレルギー対応の徹底を図っています。移管後は大磯町のアレルギー対応マニュアルに準じて対応します。該当児については保護者及び関係機関と連携を図りながら対応します。状況によって異なりますが基本的には除去食で対応します。しかし、対応しきれないものもあるので保護者と対応を相談しながら提供します。法人でのアレルギー対応の食事提供の場合の取組みを園の現状を鑑みながら行います。</p>	

虐待等により 支援の必要な子ども	文字数	245
	様々な機関と連携を図り情報共有します。園は子どもの様子を継続的に観察することで虐待を早期に発見しやすい立場にあるので、まずは保護者との信頼関係を築き、保護者が抱え込まず相談しやすくなることに努め虐待に至る前に防げるように支援します。虐待についての対応を職員へ周知を図り、理解を深めることで早期発見に努め、気になる事項がある場合は情報共有を行います。マニュアル内のチェック表を用い客観的な視点を大切にし、虐待を発見、または疑われる場合は園内に留めるのではなく、他機関との連携を図り対応します。	
外国籍等 文化の異なる子ども	文字数	247
	外国にルーツを持つ保護者にとって言語、文化に関わる問題は大きいものであると考えます。日本語でうまく意思疎通ができなかったり、文化・習慣が異なることによるトラブルが起こったりしないように配慮します。状況により、行政に相談します。特に具合が悪いなどの場合は早急に対応します。生活習慣の違いや宗教上の理由によるものなどへの配慮も大切にします。必要であれば食事に関しても対応します。本児、保護者が言葉や文字が分からなくて困ることのないように、「やさしい日本語」で情報を提供し個別対応をしていきます。	
家庭支援の 必要な保護者	文字数	245
	それぞれの家庭に合った必要とする支援を汲み取っていくことが大切であると考えます。支援を必要としていても言い出せなかったり、今後支援が必要とされる状況となっていることが予想されることもあります。まずは保護者が相談しやすい環境となるように保護者と信頼関係を築くことが重要であると考えています。いつでも話し合える環境、相談しやすい環境となり、保護者が安心して園を利用できるように努力します。支援が必要であると考えられた場合は、早い段階で行政と相談しながら適切な機関を保護者にお勧めしていきます。	
③食育及び給食提供の考え方（様式10）		
給食・調理等	調理担当： <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施者 <input type="checkbox"/> 委託業者（業者名： ）	
	献立作成： <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施者→（ <input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> 調理師 <input type="checkbox"/> 左記以外） <input type="checkbox"/> 委託業者	
	アレルギー食対応： <input checked="" type="checkbox"/> 対応する <input type="checkbox"/> 対応しない	
食育について	文字数	250
	生長の様子や過程に触れ、収穫を喜び楽しんで味わうことは食への意欲、関心を育みます。それは食育で大切なことですので積極的に行います。法人でも自分たちで栽培し調理する喜びを味わうことで、食物のおいしさや大切さを知ることができ、食への意欲や関心が高まっています。収穫したものを味わう体験として調理員と連携し給食のメニューに取り入れ、自分たちで調理をするなど調理員と協力して年間を通して調理保育を行っています。調理員の仕事をすることで給食を食べる喜びと共に感謝の気持ちも持つことができるように配慮しています。	
給食提供についての 考え方	文字数	246
	園での「食」に関する基本方針を基に進めます。業者の選定については、地元のお店かつ公立園や近隣の小中学校と取引実績があり、園へ配達をして頂ける業者をお願いをし、「安全、安心な食材を納入すること」を前提とします。献立について、色々な料理をメニューにし、おたのしみ給食やバイキング給食なども行いたいと考えています。地域のお店の方々、栄養士、調理員と保育士が協力して子どもの豊かな食生活につながるように配慮します。コストを優先するのではなく、安全で安心できる食材を使用することを最優先とします。	

④地域との連携等（様式11）	
子育て支援事業	文字数 246 地域子育て支援はとても大事な役割であると考えています。職員の人数構成、配置は余裕のあるものにし積極的に行っていきます。地域の子育てをされている方が気軽にお子さんを遊びにつれてくることができ、相談なども気軽にできるような場所はとても重要であると考えています。セキュリティ面に配慮しながらではありますが、園庭や園内の開放を積極的に行います。数日程度を利用する保育ニーズは高く必要であるとの考えから一時預かりの実施を考えています。内容を行政機関ともよく検討し積極的に取り組みたいと考えています。
	文字数 245 地域社会と連携して保育が展開されるよう配慮し、自然豊かな大磯の環境、地域の方々などの人材、地域の行事、地域の食材、施設などの素晴らしい環境を活かし子どもたちの健やかな成長につなげていきたいと考えています。地域の方をお招きしたり、地域の清掃、近隣の小・中・高校などとの交流など、現状を鑑みながら積極的に地域との連携に取り組みます。保育においては「おおいそたんけん」と称して、地域のお寺や歴史のある場所を訪れお話を聞いたり、地域や周囲の方々に愛着を持てるような活動を行いたいと考えています。
⑤保護者に対する支援（様式12）	
保護者との連携	施設だより： <input checked="" type="checkbox"/> 発行する（年 1 2 回発行予定） <input type="checkbox"/> 発行しない
	連絡帳： <input checked="" type="checkbox"/> 作成する <input type="checkbox"/> 作成しない
	苦情受付窓口： <input checked="" type="checkbox"/> 設置する（具体的に：苦情解決制度の設置・保護者周知）
保護者に対する支援・連携	文字数 240 毎日のコミュニケーションを大切にし保護者の方と信頼関係を築くことで相談しやすい雰囲気作りをします。保育の様子や活動への取り組みを積極的に発信していきます。園だよりの他にクラスだよりを月1回以上発行し、日々の保育の様子を写真を使って情報提供として掲示します。年2回程度の懇談会、個人面談を年1～2回程度の実施を検討しています。相談がある場合は随時、面談も含めて、保育の様子を見ていただくなどの機会を設けます。アンケートや意見箱の設置などを実施し意見を聞きやすい環境を整えます。
⑥その他配慮する取組みや提案（様式13-1）	
小学校との連携等	文字数 249 体験交流を積極的に行いたいと考えています。小学校へ行き交流をすることで期待が高まり、不安も小さくなると思います。小学生が園へぜひ体験に来てもらいたいとも考えています。小学生も自信になりますし、憧れも高まるのではないかと考えています。卒園後も小学校での生活を見に行ったり、お聞きする機会を設けることができると考えています。他施設との交流も行いたいと考えています。お互いに刺激を受け楽しい思い出も増えるのではないかと想像します。難しいかもしれませんが給食を食べる交流などもできればと考えています。
	交通安全対策

開園準備や開園後の 取組み等	文字数	237
	子ども、保護者の不安、混乱を招かないようにしていくことが、民間移管において最優先であると考えています。保育方針、保育内容を引き継ぐことを大切に引き継ぎ保育を丁寧に行います。現在の職員の方々には移管後もできる限り勤務していただけるようお願いをしたいと思います。準備における打ち合わせなどにおいては、連携を密にとりながら随時行わせていただければと考えています。開園後においても、連絡や相談を密に行い、子どもたちの育ちを一緒に見守っていく思いを共有できればと考えています。	
	文字数	250
環境に配慮した 取組み等	既存の施設の設備及び備品については可能な限り移管後も有効活用させていただきたいと考えています。環境負荷の軽減の意味もありますが、様々なところに思い出が残っていることで、卒園児、保護者、職員の方々遊びに来てくださった時に喜びにつながるのではないかと思いますし、大切な思い出が繋がっていくことと思います。環境負荷が少ない設備、ソーラーパネル、雨水タンク、コンポストの設置などを行い、自然エネルギーの活用、資源の有効活用を子どもたちが見て分かりやすいものを取り入れ、未来につながる活動も行っていきます。	
	文字数	244
その他	保護者の方の意見を様々な場面で聞く機会を設けニーズを汲み取ります。一意見ではなく、意見に対して多くの賛同が得られた場合は実施できるように努めます。保護者からの相談を園内ですぐに情報共有し、必要なニーズに答えられるようにしていきます。法人施設では、タブレットによる登降園管理システムを取り入れ、保護者の方との連絡帳や出欠席の連絡をスマートフォンで行っています。保育者とのコミュニケーションの時間は以前より増え、家庭での朝の忙しい時間などは軽減されていると保護者からは好評いただいています。	
	文字数	204
⑦施設整備計画（様式13-2）		
施設整備にあたっての 考え方	新設とし園整備時においては既存施設及び園の運営への影響が最小限となるように留意します。また、日照・工事中、開園後の騒音・交通対策・環境面に配慮し誠意を持って対応します。工事中の安全確保としては、車両の出入りする時間等を明確にし、特に車両の出入りが多い時などは警備員を配置するなどの配慮をします。近隣の方々には、計画の概案時・計画実施前に説明会を行うとともに、ポスティング及びご挨拶に行き意見を伺います。	
	文字数	94
⑧家庭的保育事業の運営に関する提案（様式13-3）		
教育・保育理念	ひとりひとりと真摯に向き合い、寄り添い、受け止める。保護者と信頼関係を築く。人に対する信頼感を育む。低年齢児が長時間過ごす場所となるので安心して過ごせる保育環境や言葉かけをする。	
	文字数	150
教育・保育方針	ひとりひとりの個性や成長に合わせたゆったりとした保育の中で自己肯定感を育む。ひとりひとりの個性や成長に合わせた豊かな感情表現を育む。たくさん遊び、おいしく楽しく食事をし、ぐっすり眠り、健康な心と体を育む。お迎えの保護者が安心できるように、その日の姿や活動を共に喜びを分かち合えるように伝える。	
	文字数	150

教育・保育目標	文字数	104
	<p>毎日楽しく登園出来る。 保護者の方が安心して預けることができる。 お家の方と一緒にお子さんの成長を喜びあえる。</p> <p>子どもたちが楽しく過ごすことができるような、年齢に合わせた絵本や教材などの環境設定を準備する。</p>	
定員	1歳児	2人
	2歳児	3人
	合計	5人
開園時間	平日	開園時間：7:00～18:00 保育時間：8:00～17:00
	土曜日 (実施は任意)	開園時間： 保育時間：
延長保育時間	平日	開園時間：7:00～8:00・17:00～18:00 保育時間：利用は8時間以内
	土曜日 (実施は任意)	開園時間： 保育時間：
職員配置の考え方	文字数	136
	<p>基本的には常時2名配置で保育を行います。 1名以上を常勤職員とし、朝・夕などの勤務時間により非常勤職員が勤務します。 夏季休暇などの対応時は法人他施設からの職員派遣を行います。(派遣職員は事前に実施施設で研修として保育を行います。)経験豊富な職員を配置するように努めます。</p>	
職員数	家庭的保育者	2人
	家庭的保育補助者	2人
	合計	4人
食事の提供方法	<input checked="" type="checkbox"/> 自園調理 <input type="checkbox"/> 外部搬入 <input type="checkbox"/> 調理業務外部委託	
家庭的保育事業実施にあたっての提案事項	文字数	250
	<p>大磯幼稚園内での事業という点を活用し、在園児と遊ぶ機会を設けることができると考えています。安全に配慮しながら、園庭や保育室で遊ぶことで、子どもたちにとって喜びになるのではないかと考えます。 移管後においても安心できる環境の中で継続して利用でき、新入園児の中でも伸び伸びと過ごすことで、他児もスムーズに園生活に慣れることができるのではないかと考えます。職員においても、移管後も勤務することで在園児、職員とのかかわりも深まり園運営において、潤滑に進められるための重要な人材になるのではないかと考えます。</p>	
◎学童保育クラブの運営に関する提案(様式13-4)		
利用定員	小学校第1学年	10人
	小学校第2学年	10人
	小学校第3学年	10人
	合計	30人
基本方針	文字数	135
	<p>ひとりひとりの子どもが、安心して生活できる場としての実感を持てるようにする。 子どもたちの思いや感情を受け止める。 *生活を豊かに築いていくことができるようにする *自分自身を大切にし、友達を大切にし、支えあっていけるようにする。 *自分で考え自分で行動する力を育てる。</p>	

日常の育成内容	<p>文字数 190</p> <p>安定した関わりの中で子どもたちが豊かに育つ こども主体のあそびと生活を通して生き活きと活動できる 生活の場としての位置づけとし、明日への繋がりが持てるようかかわる。 子どもたちが学童で幸せに過ごすことで、保護者は安心して預けることができます。 子どもたちが毎日楽しく通える学童保育をとなるように努めます。 園の施設を大いに活用し、遊ぶだけではなくゲームや製作などを行っていきます。</p>
職員の採用	<p>文字数 250</p> <p>法人採用とし、常勤職員2名程度、常勤的非常勤を含む非常勤職員4名程度の採用を考えています。養成校の学生や保育を志す方などを積極的にアルバイトとして採用し、活気あふれる環境の中で安全で安心できる学童とします。 法人採用としますが、本人の希望により学童実施の時間に合わせた勤務時間、または学童を実施していない時間帯はこども園での勤務を選択できるようにします。本人の希望を考慮し、学童からこども園またはその反対での配置転換も行えるようにします。 法人内職員として、待遇は同様にし福利厚生なども同様とします。</p>
危機管理	<p>文字数 214</p> <p>新施設設の中に保育室として設置しますが、出入り口は別とします。出入り口には施錠、カメラを設置し不審者対策とします。 室内の出入り口は別に設け、災害時においては2か所からの避難経路を確保します。また、避難訓練は年に数回以上こども園と合同で行います。 大磯小学校へは、職員が授業終了時に迎えに行くことを想定しています。 迎える場所、時間帯などは小学校及び町と相談させていただければと思います。今後は可能であれば車での送迎も検討します。</p>
利用料設定	<p>文字数 193</p> <p>諸条件にある利用料設定とします。延長保育 30分につき500円を想定していますまた、別途おやつ代として実際の食数×50円を徴収することを考えています。 長期休み時（土曜日を除く） 給食費 実際の食数×300円 その他、製作物等は運営費等の中で賄うことを想定していますが、他施設の状況をお聞きしながら行っていきます。別途徴収を検討する場合は、利用者の方にご意見を伺うことを最優先とします。</p>
意見や要望等への対応	<p>文字数 159</p> <p>送迎時のコミュニケーションの中でのニーズの汲み取り 意見箱を設置し随時ご意見をうかがえる場所を設ける 年2回程度のアンケートの実施 を行います。 改善が必要と思われる場合は、園長をはじめとした職員間で情報共有をし早急に対応します。また、いただいたご意見及びその対応や施設の考え方などはたより等で保護者に伝えていきます。</p>
学童保育クラブ実施にあたっての提案事項	<p>文字数 246</p> <p>こども園に隣接した施設ということを活用し、園庭や園内で安全に在園児とかかわる機会を設けます。在園児にとっても楽しく、小学生にとっても自信につながることも多くあると考えます。小学生に負担にならないように配慮しながらかわりを深めていきます。 学童だからこそ経験できる集団での活動、異年齢とのかかわりなどを存分に生かし、ゲーム遊びや製作、調理保育などを行い、予定が合うようであればこども園での行事等への参加も検討します。 少人数や一人で過ごしたいなど一人一人の思いや様子に配慮しながら活動します。</p>

『地域とつながり、ひらかれた子ども園』

山と海に包まれた自然豊かな町、大磯。

新しく計画されるこども園ではより一層のびのびと、地域にひらかれたこども園を目指します。



周辺環境に合わせた勾配屋根と建物を分節し近隣建物とスケールを近づけることで地域に馴染ませる